

Pastolero Dune Marie Ollegue (パストレロ ジューン マリー オリェゲ) さん

フィリピン共和国 鹿屋市 介護福祉士

タイトル：日本での生活で体験したこと

皆さんおはようございます。私はフィリピンから来たジューンと申します。私の日本の生活と経験について発表させていただきたいと思います。

私は2015年の6月に介護福祉士候補者として日本に初めて来ました。日本に来るのは初めてだったのでいろいろ不安でしたが、日本で働いている友達から日本は素晴らしいと聞いて少し安心しました。

日本に来て半年間、横浜で日本語の研修を受けました。その間はたくさんのフィリピン人の友達と一緒にだったので楽しい毎日でした。でもホームシックなどを感じました。

これまで、日本にいて困ったことがたくさんありました。例えば、日本語をあまりしゃべれなくて、漢字もあまり読めなかったので電車に乗ることとかが心配でした。駅の看板はほとんど漢字で書いてあって、読めなかったので一所懸命行き方を聞きました。日本人は聞くとすぐに行き方を教えてくれました。

ほかには、フィリピンの習慣と違うことがたくさんあるので不安でした。だんだん慣れましたが半年立って研修が終わると、私たちはいろいろなところに配属されてばらばらになってしまったので寂しかったです。

一昨年12月に鹿児島に来て、介護福祉士老人ホーム施設で仕事が始まりました。仕事をしながら日本語の勉強をしなければなりません。ここに来てまた新しい生活になると思いました。最初は2人でしたが去年の6月に1人になったので悲しかったです。仕事と一人での生活ができるかどうか不安でした。

実は仕事をするのも、家族と離れるのも初めてだったので不安がたくさんありました。でも時間が立って一人で生活をするのもだいぶ慣れました。

最近では仕事も勉強も難しくなってきた、覚えることがたくさんあって大変です。仕事は身体を使うし、日本語も難しいし、入所者様は鹿児島弁で話しているので本当に身体だけでなく頭も疲れています。ストレスが溜まってきた時、諦める気持ちを感じました。ですが仕事で入所者様の笑顔を見られて「ありがとう」と言っただけだとすごく嬉しくてモチベーションが上がります。

海外で働くことは簡単なことではないと思います。今からまだまだ大変なことがあると思いますが、もっと頑張ろうと思います。

今では、日本に来てから2年経ったので仕事や仕事以外でいろいろなことが少しできるようになったので嬉しいです。例えば一人買い物をすることや料理を作ることです。

私にとって日本で一人で生活することは私の人生のゴールの一つです。日本の新聞に載ったり、日本のテレビに出たりしたこともあって、家族に喜ばれたので私も幸せです。

私は日本でいろいろ素晴らしい経験ができて、本当にありがたいです。  
ご静聴ありがとうございます。